
とある科学の多重能力

かみやん！

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある科学の多重能力

【Nコード】

N8885K

【作者名】

かみちゃん！

【あらすじ】

学園都市で能力者による、能力者狩りがおこなわれていた。

能力者狩りの犯人は、能力を複数使えるらしい。

そして、過去未来を自由に行き来する少年。

未来の学園都市はいつたい・・・

過去と未来が交差するとき、能力者達の物語が始まる。

みたいな感じ？ W W

(前書き)

国語力ゼロの自分ですが、オリストを書いてみたいとおもいます。
変なストーリーになるのは確実なので、覚悟してください！
ってか、まだどういふふうになるかはわかりませんがw
見てくれたらありがたいですw

国語力ゼロの自分ですが、オリストを書いてみたいとおもいます。変なストーリーになるのは確実なので、覚悟してください！
つてか、まだどういうふうになるかはわかりませんがw
見てくれたらありがたいですw

白井黒子は、第7学区の街中を歩いている。

ジャッジメントの仕事をしているのだろうか、緑のワッペンを腕につけている。

その時、白井の携帯がなった。

白井は、めんどくさそうな顔をして通話にでた。

「はい。なんですのこのり先輩？」

『ちよっと、きいてきいてっ！』

電話してきたのは、白井の先輩で、ジャッジメントでも尊敬できる存在のこのり先輩である。

『最近、能力者による能力者がりが多発してるでしょ？』

「ええ。それがなんですの？」

このり先輩は少し黙って言った。

『あいては、能力を複数使ってるらしいの。』

多重能力者って言えばいいかしら…』

「はっ？多重能力者・・・ですか？」

白井は、このり先輩が言ったことがしばらく理解できなかった。

それはそのとおりだ。

学園都市には、たくさんの能力者がいる。

電気を操る者や、火を操る者、空間移動する者などたくさんの能力者が。

でも、それらを見て驚く人は学園都市にはいない。

それが学園都市の日常だからだ。

だが多重能力者となればまた別だ。

能力は一人にひとつ。

多重能力は、実現不可能となっているからだ。

（レベルアップ）
（幻想御手事件で木山春生が多重能力を実現させてましたけど・・・）

レベルアップ
幻想御手事件。

過去、幻想御手を利用したネットワークを操る事で木山春生という人物が

多重能力を実現させていた。

しばらく白井はそんなことを考えていたが、このり先輩が追い討ちをかけるように言った。

「それと被害者が言うには、能力をコピーされたとか
いったのよ」

(後書き)

見てくれてありがとうございます。

書こうと思ったきっかけは、いろいろありまして^^

ひとつだけいうと、やっぱりとある魔術の禁書目録を読んだからなんですネ！

実はいうと、自分、能力とかそういうのが大好きなんですww

なので、文とかそういうのを書く才能がなくても、ある程度かけるんですネ。

魔術は苦手ですが・・・

いつか、かけるようになりたい！

たぶんですネ。

過去の自分がですネ、今の自分を見たら

こう思うでしょう。

(明日雨降るね。いや、台風が来るかな?)

とかねwww

まあ、とにかくそういうことです。

じやあ、1111<>>

ではでは

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8885k/>

とある科学の多重能力

2010年10月9日05時28分発行